

2026.5.28 (木)  
第 44 回例会  
(通算3853回)

## 2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛  
副 会 長 池田 一己  
幹 事 横田 英喜  
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度  
国際ロータリーテーマ

『よいことのために手を取りあおう』  
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度  
RI 会長 フランチェスコ・アレツォ  
第 2500 地区ガバナー  
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム 嵯峨記念奨学生新入生報告 / 新入会員歓迎会 (嵯峨記念育英会委員会・親睦活動委員会)

次週例会 クラブアッセンブリー (次年度理事会)

■ロータリーソング：それこそロータリー ■ソングリーダー：西田 一博君

■会員数 107 名

■ゲスト 釧路湖陵高校 菊田 はなさん・菊田 玲子様  
武修館高校 佐々木峻輔君・佐々木由香里様・ 堤 仁太郎君・堤 美幸様  
" 遠藤 倫哉教諭  
長谷有理子様 (見学)

### 会長の時間 荒井 剛会長

会長挨拶として  
4つほど話題があるので、お話させていただきます。  
その前に皆さん、体調は大丈夫ですか。私自身がタイから帰った後ですが、1週間ぐらいいろ喉の痛みがずっと続いています。咳も少し出始めたことで、おかしいなと。熱は出ていないのです。『謎の風邪』で検索すると、いま全国で流行っているのですよね。自分も謎の風邪なんじゃないかと病院に行って、溶連菌、インフル、コロナのチェックをしたら全部が陰性でした。ただ、咳が続いているのでレントゲンを撮ってみると、気管支炎になっていたのです。「一歩間違えると肺炎になるところだ」とたくさん薬をもらって、今それ飲んでおります。皆さん、ご自愛ください。これが最初のひとつです。



私は5月22日に武修館高等学校に行って、インターアクトクラブの加盟登録式に参加してまいりました。武修館の1年生の生徒たちに、インターアクトクラブに入会していただいて、そこでインターアクトのバッジを授与させていただきました。今後の高校生活の中で皆さんに国際奉仕とボランティアでいろいろ体験していただいて、自分の視野を広げることを願っております、という挨拶を釧路ロータリークラブの会長としてさせていただきます。それが2点目です。

三つ目、これは嬉しい話です。昨日か一昨日のニュースに出ていたと思います。2020年10月22日の夜間礼会のときに、船木年度で中島さんがプログラム委員長の時、「ワインのたしなみ方」として、この例会に来ていただいたのが今秀雄さん。その今秀雄さんの釧路市内にあるレストラン『炬ばたとワイン K』ですが、ジャパントイムズが発表した『日本のベストレストランリスト』の中のひとつにめでたく選ばれたのです。これは日本各地の地域に根ざしたやさしいレストラン、優れたレストランということで、特に海外からの美食家たちを念頭に、日本の有識者が選出するというプロジェクトです。これが2021年からスタートしていて、2021年から10店舗ずつ増えています。今年で6年目ですので、日本全国でちょうど60店舗になっております。そのひとつとして選ばれました。釧路からはその1店舗しかまだ選ばれていません。お隣の白糠の『Cuore(クオーレ)』も選ばれていますが、釧路からは『炬ばたとワイン K』が選ばれたことで嬉しいことだと思って報告させていただきます。

最後のひとつです。これは、こういう取り組みが行われていることを皆さんにもぜひ知っていただきたいと思ってご紹介させていただきます。皆さん、ペットを飼われている方がいらっしゃると思います。私も小さいころに飼っていました。

一人暮らしの高齢の方がペットを飼われている場合、その高齢者が倒れてしまって入院が必要となった時に、その方が一番気にするのはペットのことです。

ペットを残して自分が入院するわけにいかないとか、入院したとしても、ペットがどうなっているのか気が気でないということがあります。

実は、ペットと一緒に入院できる病院がこれまでなかったのですが、先駆的にこの取り組みをしているのが岐阜県の松波総合病院です。この間、テレビで取り上げられたのです。動物ですから菌の問題もあるので病院に連れて行くことはできませんけども、病院の病棟の隣にペットが宿泊できる建物があって、そこに預かってもらうのです。

そこで活躍するのが、愛玩動物看護師という国家資格を持った方なのです。その方がその建物に常駐して、入院患者さんのペットを預かって、日々、こんな様子ですよと日記をつけて、毎日のように入院患者さんに報告します。入院患者さんも、1週間2週間と入院が長くなったとしても、1週間に1回とか、すぐに下に行き、そのペットに会えるということをやっているみたいです。

これはテレビにも取り上げられていて、すごい話題になっているのです。どうしてこの話題を取り上げたのかですが、その病院を経営している松波さんが2630地区のガバナーノミニ・デジグネートで、私と同期になる方で、この間、横浜へ行ったときに知り合いになって、「今、こういうことやっているんだ」という話があったので、これをぜひ皆さんにもご紹介したいなと思って報告させていただきました。

これ以上長く喋ると咳が出てしまうので、これで今日の会長挨拶を終わらせていただきます。

今日もよろしく申し上げます。以上です。

### 幹事報告 横田 英喜幹事

荒井会長と一緒にタイに行ったのに、今日も元気な幹事の横田です。よろしくお願ひいたします。

幹事報告をさせていただきます。タイでのグローバル補助金贈呈式でタイのクラブからお土産をいただきました。体重計ですので、クラブ事務局に置きたいと思ひます。また象の織物の水筒みたいな物がありますので、これを使わせていただきたいと思ひます。

新井会長がタイの病院でエコーの機械を贈呈したのですけれども、現地のネットニュースと思ひますが、報道されておりました、ということをお報告させていただきます。

5月末ですけれども、『ロータリーの友』6月号がパーソナルボックスに入っております。皆さん、お持ち帰りいただければと思ひます。

最後に事務連絡です。来週の水・木・金曜日は事務局の小野田さんがお休みをいただいております。アッセンブリーと重なりまして大変な時期かと思ひますが、もし事務連絡、会員に回す連絡がありましたら明日の金曜日か、月曜日はお休みをいただいておりますので来

週火曜日までに連絡をいただければと思ひます。また、緊急の連絡がありましたら幹事の横田まで連絡いただければと思ひます。

### 新入会員紹介

#### スポンサー 市橋多佳丞君

皆さん、こんばんは。私から新入会員の山口尚兵君を紹介させていただきます。山口尚兵君は株式会社大伸の代表取締役を務められてお



ります。15年ほど前まで在籍されておられた山口房信会員のご子息です。皆さまには若いころから山口君とお知り合いの方もいると思ひますので、ぜひ仲良くしてあげてください。

本人のパーソナリティです。ゴルフはされます。麻雀もされますので、ぜひ皆さま、かわいがってあげていただきたいと思っております。生年月日が昭和54年の6月3日で、現在46歳。来週には47歳になられるという、若手の大ヒット株だと思っております。

昨年度3月までYGの専務理事をされておりました、その激務が終わったことで晴れて当会に入会をいただきました。また、某青年団体でも理事長を経験されるなど、経験は豊富な方です。

私と八幡君がスポンサーをさせていただいておりますけれども、彼を口説くには杉村先輩や村上さんなどのお力添えをいただいて本日の入会となって、大変嬉しく思っております。

皆さん、これから仲良くしていただければと思ひますので、どうぞよろしくお願ひを申し上げます。

#### 新入会員 山口 尚兵君



ただいまご紹介いただきました山口尚兵と申します。どうぞよろしくお願ひします。

この度は、歴史と伝統ある釧路ロータリークラブに入会させていただきましたありがとうございます。あまり余計なことは言うなどは言われてはありましたが、きちんと入会が認められるか、本当にOKと言われるまでは気にしておりましたが、今日を迎えられたので本当に良かったと思っております。父がロータリークラブでお世話になっておりました。私自身は、ロータリークラブとはとても馴染みのあるところではありますが、私としては、名前は聞いたことがあります何がやっているのかは全くわからないと

いう状態でございます。

先輩諸氏の皆さまにおかれましては、ご指導ご鞭撻いただきまして、私もなんとかきちんとしたロータリアンになれるように精進したいと思いますので、今後ともどうぞよろしく申し上げます。

### 歓迎の一言 荒井 剛会長

山口さん、入会ありがとうございます。そして、山口さんの入会にあたりまして、杉村さん、市橋さん、八幡さん、村上さん、その他大勢の方が声をかけていただいて今日を迎えたと思っております。本当に嬉しく思っております。

ロータリークラブ、確かに、私も入った時はどんなところだろうかと思っておりましたが、参加すればするほど楽しいところだと思っております。私もかれこれ十何年以上入っていますので、参加の回数が増えれば増えるほど、楽しさがその分、比例して上がってくると思います。ぜひぜひ、参加してください。

本当に入会おめでとうでございます。所属委員会としては、あと1カ月ぐらいしかないのですけれども、親睦委員会に所属していただければと思います。親睦委員会の委員長は中島さんです。

### ■本日のプログラム■

『嵯峨記念奨学生新入生報告／新入会員歓迎会』

### 嵯峨記念育英会委員会 脇 弘幸委員長

皆さん、こんばんは。嵯峨記念育英会委員会の脇です。本日は夜間例会ですが、嵯峨記念育英会奨学生の新入生報告ということで少しお時間をいただきまして、今回新たに奨学生となりました皆さんをご紹介し、奨学生からはそれぞれスピーチをいただきたいと思っております。

今年度の奨学生につきましては、今月の11日に石田理事長をはじめ6名で選考委員会を開催し、応募の中から3名の奨学生が選定をされました。先ほど荒井会長からご紹介がありましたが、改めてご紹介をさせていただきます。

お一人目が、特技はピアノで、12年間続けているという湖陵高校の菊田さんです。お二人目が、責任感が強く、自ら考え、主体的に行動へ移すことができる武修館高校の佐々木君です。三人目が、文武両道、アイスホッケーと学業の両立をはかってきた同じく武修館高校の堤君です。

皆さん、どうぞよろしくお願いをいたします。奨学生となった皆さんからは、4月からスタートをした高校生活での目標や卒業後の夢や抱負など今の気持ちをお話していただければと思います。

それでは最初に菊田さんからお願いをいたします。ご登壇ください。

### 奨学生 釧路湖陵高等学校1年 菊田 はなさん

この度は奨学生に選抜していただき誠にありがとうございます。

私は将来、医師として活躍したいと考えています。具体的に



は、がんの治療や脳外科医などの分野において、新種の開発などに取り組みたいと考えています。

高校生活では、膨大な量の勉強量をこなしながら、大変多忙な日々を送っておりますが、あと3年間勉強に励んでいきますのでどうぞよろしくお願いたします。

### 奨学生 武修館高等学校1年 佐々木峻輔君



この度は、釧路ロータリー嵯峨育英会奨学生として選んでいただき誠にありがとうございます。また、本日は釧路ロータリークラブの

例会にお招きいただきましたことを心より感謝申し上げます。

私は今春、武修館高等学校に入学しました。まだ入学して間もないですが、新しい環境の中で多くの出会いがあり、高校生活への期待が大きく膨らんでいます。私は中学校の3年間、学業とアイスホッケーの両立を目標に日々努力を重ねてきました。勉強では英語検定3級の取得に挑戦し、部活動では大会優勝という貴重な経験をすることができました。しかし、その経験を通して得たのは結果だけではありません。努力を積み重ねることの大切さや仲間と支え合うことの大切さを学ぶことができました。

高校では、本校の校訓である『愛と奉仕に生きる』という言葉を大切にしながら、自分自身をさらに成長していきたいと考えています。特に献血奉仕活動や清掃奉仕活動などに積極的に参加し、自分にできる形で地域や社会に貢献していきたいです。私は人の役に立つ行動は周囲のためだけでなく、自分自身を成長させる大切な経験になると思っています。

このたび3年間にわたり、奨学金という形で支えていただけることに、深く感謝しています。私は未熟ではありますが、この奨学生として自覚と責任を持ち、周囲への感謝を忘れず、社会に貢献できる人間を目指して努力していきたいと思っております。学業面では、授業に主体的に取り組み、自ら考え、理解を深める姿勢を大切にしていきたいです。特に英語の力をさらに伸ばしたいと考えており、高校でも英語検定の上位級取得を目指し

て努力を続けていきます。また、部活動のアイスホッケーでは、これまでの経験に満足することなく、仲間と切磋琢磨しながらチームに貢献していきたいです。そして、全国大会優勝という目標に向かって、技術面だけでなく精神面も鍛えていきたいと考えています。さらに、学校生活の中では、日常の挨拶や周囲への気配りを大切にし、思いやりのある行動を心がけていきたいです。

仲間と支え合いながら、人としても成長できる3年間にしたいと思っています。高校生活は自分を大きく成長させることのできる大切な3年間です。学業、部活動そして奉仕活動の全てに全力で取り組み、1日1日を大切に過ごしていきます。そして3年後、武修館高校で多くのことを学び、成長することができたと胸を張って言えるように努力してまいります。

本日は誠にありがとうございました。

### 奨学生 武修館高等学校1年 堤 仁太郎君



この度は、釧路ロータリー嵯峨育英会奨学生に選んでいただき誠にありがとうございます。また、本日は釧路ロータリークラブの例会に

お招きいただきましたことを心より感謝申し上げます。

私は高校生活において、文武両道を大切にしながら、自分自身をさらに成長していきたいと考えています。中学校ではアイスホッケー部でキャプテンを務め、競技と学業の両立に全力で取り組んできました。苦しいことや、思うように結果が出ないこともありました。目標を持って努力を続けることで自分自身を成長させることができたと感じています。部活動では仲間と支え合いながら、全国大会優勝を目指して練習に励みました。キャプテンとしてチームをまとめる中で、自分から率先して行動することや、仲間とのコミュニケーションを大切にすることを意識してきました。その経験を通して、努力を継続することの大切さや、仲間を思いやる気持ちの重要性を学ぶことができました。

また、学校行事や生徒会活動にも積極的に参加し、多くの人と関わる中で、責任感や協調性を身につけることができました。学習面でも手を抜かず、日々の授業や家庭学習に真剣に取り組んできました。現在は英検準2級取得を目指し、5月の受験に向けて努力を続けています。競技だけでなく、学習面でも成長し続けることが自分の将来につながると考えています。

私は毎朝、自主トレーニングを欠かさず行っています。また、十分な睡眠や栄養バランスの良い食事など健康管理にも高い意識を持って生活しています。高校生活

では自由が増える一方で、自分自身を律する力が必要になると思います。そのため、規則正しい生活を続けながら、競技力だけでなく、人間性も高めていきたいです。そして高校生活では、本校の校訓である『愛と奉仕に生きる』という言葉大切にしていきたいと考えています。特に献血奉仕活動や清掃奉仕活動などに積極的に参加し、自分にできる形で地域や社会に貢献していきたいです。

この度、3年間にわたり奨学金という形で支えていただけることに感謝し、奨学生としての自覚と責任を持って学業、部活動、奉仕活動の全てに真剣に取り組んでいきたいと思っています。将来は大学進学を目指し、さらに高いレベルでアイスホッケーを続けたいと考えています。そして大学卒業後にはプロ選手になることも視野に入れています。その夢を実現するために日々の努力を積み重ね、仲間と切磋琢磨しながら成長を続けていきたいです。

高校生活は自分を大きく成長させることのできる大切な3年間です。学業部活動そして奉仕活動の全てに全力で取り組み、充実した高校生活を送っていきたく思います。

本日は誠にありがとうございました。

### ご挨拶

#### 釧路ロータリー嵯峨記念育英会 石田 博司理事長



毎年この時期の恒例ですけれども奨学生をお迎えして、「嵯峨育英会の成り立ち」を拝読させていただきます。これは、私の前の理事長の吉

田潤司パストガバナーが作られたものです。奨学生の皆さんはこれを持っていますけども、メンバーの皆さんは耳を傾けていただきますようお願いいたします。

釧路市内の中心を流れる釧路川に架かる幣舞橋から富士見坂を登り切るその途中の木立の中、港を一望する場所に銅像が建っております。釧路の漁業近代化に情熱をかけた釧路水産界の先駆者、故嵯峨久氏を顕彰した像です。大正初期の釧路港は、まぐろ漁業の基地として大変活気がありましたが、当時の漁船はいわゆる「川崎船」といって、封帆船、つまり無動力の船でした。台風等の悪天候の際に、港に戻る速度が極端に遅く、悪天候の被害をまともに受ける海難事故が大変多く発生しておりました。そこで、久氏は積極的に漁業者に発動機船の導入を促し、漁業効率を高め、同時に悪天候等による被害を少なくするなど、漁業の近代化に努めました。また、現在の副港魚揚場に岸壁、通称・嵯峨岸壁を構築し、マグロの水揚げ効率化に革命的成果

をもたらし、釧路の水産業界に大変な業績を残されました。この嵯峨岸壁漁港は完全に民間の埋め立て事業として行われ、卸売市場・冷凍・冷蔵・製氷工場や漁業無線・燃料タンク基地がありましたが、残念ながら昭和20年の空襲で焼失しました。

故嵯峨久氏は釧路漁業の父とも言われた人で、昭和初期、釧路魚菜市場の社長を務めております。嵯峨氏は若いころ、大変貧乏で、向学心に燃えていたのですが、経済的理由から十分な勉強をすることができず、成功を収めた後も「向学心に燃えた青少年に経済的援助を与えることにより、勉学の期待を与えることができないだろうか」と常日ごろ話していたということです。しかしながら、残念なことにその夢をかなえることができず、昭和35年8月、病氣療養中に東京にて客死しました。享年84歳でした。当時の詳しい資料はありませんが、久氏は育英会設立に奔走されていたと思います。嵯峨久氏の後を継がれましたご子息の嵯峨晃氏もまた釧路の漁業発展に尽くされ、経済的な手腕も相当なものがあり、釧路経済界のリーダーとして活躍された方でした。晃氏は、その父の夢をかなえようと苦労を重ねた上、久氏が亡くなったおよそ1年後、昭和36年12月16日、財団法人嵯峨青少年育成会を設立いたしました。当時、育英会を作ろうとすることは大変なことで、当然、現在のようにインターネットで調べることもできず、育英会設立の手引き書関係の本も皆無で、試行錯誤しながらの設立でありました。監督官庁との連絡ひとつをとっても、長距離電話で交換手を経由し、空き回線を数時間が待ちながら指導を受けて書類を作成するという、その努力は想像を絶するものがありました。東京ロータリークラブ主幹の米山奨学会が昭和27年設立で、それに遅れること、たかだか9年で北海道の片田舎で育英会が誕生したことは特筆すべき出来事ではないかと思われます。久氏、晃氏2人とも、釧路ロータリークラブのチャーターメンバーで、嵯峨晃氏は、1961年に分区代理制度ができた時のR I 350地区初代分区代理を務め、1965-1966年R I 350地区ガバナーを務めております。

晃氏は育英会設立にあたり、育英会の目標について次のように述べておられます。

『人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう。これは後藤新平の言葉ですが、自立、独立の志のある人、この人こそが我々の友である。後藤新平の言葉にあるような人が、現在くらい必要な時代はないように思われる。このような若い人を発掘して、われわれのささやかではあるが、心を込めた贈り物をぜひ贈りたい。これがわれわれ財団の念願であります』。

育英会設立当初の資料はほとんど残っておりませんが、設立申請書控えおよび当時の預金通帳が残ってお

り、設立時の苦労がしのばれます。

資料によりますと、設立時の基金は1,050万円、現在のお金に換算しますと、およそ1億円前後と考えられます。当時の晃氏は、業界はもちろん、釧路市の経済界においても絶頂期にあり、釧路経済界の重鎮として大活躍されていたことがうかがえます。育英会設立時は、育英会の運営はもとより、奨学生の募集・選考、奨学金の寄付給付等を1人で行ってりましたが、あまりの忙しさの中、育英会活動を行う時間がなくなり、その後、育英会が休眠状態になりました。そのような中、育英会設立から10年後の昭和47年4月、突然ご逝去されました。晃氏のご逝去があまりにも突然であったため、育英会理事長を嵯峨家から輩出することが難しく、やむなく釧路ロータリークラブ会員の今は亡き泉敬氏が理事長代行を務めることとなりました。しかし、泉氏も当時、新進気鋭の弁護士として大変忙しく、育英会活動に多くの時間を割くことができず、活動は困難を極めました。

育英会および嵯峨家として、育英会継続方法を模索しましたが、昭和50年9月嵯峨家より釧路ロータリークラブに以下のような申し入れがありました。

釧路ロータリークラブに嵯峨青少年育英会を無償で譲渡したいので、以降の運営をお願いしたい。

そこで釧路ロータリークラブでは、昭和50年10月に臨時総会を開催し、釧路ロータリークラブで運営することが承認されたのでした。

これが設立の流れです。現在まで来ていますけれども、もう苦学生という言葉が本当に似合わなくなったような経済状態の中、その中で釧路クラブとしては、嵯峨家を継承するという意味で、その意味の一点で継続してまいりました。まだ30年ぐらいの資金はあると思いますけれども、それをぜひ釧路の青少年に提供しながら、活動していきたいと思えます。

今日、お出でいただきました3名の皆さまのこれからの人生の明るいことを祈念申し上げまして、ご挨拶といたします。ありがとうございました。

#### 親睦活動委員会 桑原 岳広委員



皆さん、こんばんは。本日、総合司会を務めます親睦委員の桑原です。よろしくお願ひします。

本日は、荒井会長年度に入会された会員の歓迎例会です。新入会員歓迎パート2と題し、入られてからだいぶ経って、なじまれている方もいらっしゃると思いますが、本日入会の方も含めて、今日4名の新入会員にスポットを当て、釧路ロータリークラブの雰囲気いち早くなじんでいただく企画でございます。

本日は盛り上がりまいると思いますので、皆さまよろしく願いいたします。

それでは早速でございますけれども、皆さまで乾杯をしたいと思います。新入会員歓迎会はクラブ研修委員会と親睦活動委員会の共同例会でございます。

乾杯のご発声を後藤公貴クラブ研修委員会副委員長により賜りたいと存じます。

後藤副委員長、よろしく願いいたします

### 乾杯のご発声

#### クラブ研修委員会 後藤 公貴副委員長



皆さん、こんにちは。クラブ研修委員会ということでご挨拶をさせていただきます。

毎年のことながら嵯峨記念の奨学生の皆さんの夢と希望あふれるお話を伺いまして、深く感銘をすると同時に、私も頑張らねばなあという気持ちに毎年させられております。本当に貴重な時間をいただきありがとうございます。

そして本日は新入会員歓迎会ということであります。いつも以上に皆さんと一丸となって、本日盛り上がりましてまいりたいと思いますので、ぜひご協力、そしてお願いします。

ということで、乾杯をさせていただきます。皆さまご起立をお願い申し上げます。

それでは本日一日、楽しんでまいりましょう。

(新入会員クイズ)

(手に手つないで)

### 中締めのご挨拶

#### クラブ運営委員会 佐藤 貴之委員長



クラブ運営委員会の佐藤でございます。ご指名がございましたので中締めのご発声をさせていただきます。

今日はお時間が短かったと思いますので、皆さんぜひ、未広のほうに繰り出してお金を落とさせていただければなど思っております。

少し長くなるのですがけれども、本日お話したら、長谷さんは過去にロータリークラブで留学をしていた経験があるそうです。

いま西村さんが言って、そうなのですよ、実はこのクラブにも1人、貴重な高校時代にロータリークラブから留学している人間がいるのです。ご存知ですか皆さん、ありがとうございます。実は私なのです。ただ私、本当は貴重な存在なのですがけれども、クラブの代表理事なのですけれども、ただ、今回、長谷さんが入会していただいたら、ロータリーで留学を経験した枠のレベルが上がるのではないかと密かに思っております。

長谷さん、来週などはちゃんとした例会になると思いますので、勘違いされていたら困るのでまた来ていただければと思っております。

本日、こういう感じで非常に楽しい例会を中島委員長はじめに、設えていただきました。

荒井年度も残りあと1カ月しかございません。なんとか、このまま上手く着陸できるように、出航した船が戻って来ていただけるように、みんなでこれからも親睦委員会をはじめ頑張っていきたいと思っております。

それでは最後、乾杯で締めさせていただきます。

それでは荒井年度のこれから残り1ヶ月なんとか成功できますように乾杯したいと思います。

### 本日のニコニコ献金

- 舟木 博君 暑いタイから寒い釧路に無事ミッションを終え帰ってきました。
- 土橋 賢一君 七、八年ぶりのタイ。物価が高くなって驚きました。とりあえず無事帰ってきましたので。
- 吉田 英一君 タイに私も同行して、ミッション達成しました。

今年度累計 442,420円